

# 名古屋港

## 港湾機能の強化に向けた

## 要望書



2024年7月

名古屋商工会議所  
名古屋港振興協会  
名古屋港利用促進協議会  
名古屋海運協会  
名古屋港運協会  
東海倉庫協会

## **名古屋港の港湾機能の強化に向けた要望**

名古屋港は、背後圏に我が国の経済を牽引する自動車、工作機械、航空・宇宙、鉄鋼、電気製品等の「ものづくり産業」が集積しており、中部地域の発展に欠かせない非常に重要な社会インフラであります。

2023年の総取扱貨物量は、約1億6千万トンと22年連続で日本一、輸出額と輸入額の差引額は、他港を大きく引き離す約7兆9千億円を誇るなど、国内屈指の実力を持つ名古屋港は、中部地域の海の玄関口として着実な成長と発展を続けております。

中部地域の「ものづくり産業」が我が国の経済・産業を牽引し続けるためには、生産性向上によるさらなる成長を図る必要があります。そのためには、国際産業戦略港湾として物流面を支える名古屋港が、この地域のストック効果を最大限に発現できるよう、コンテナ貨物、完成自動車及びバルク貨物の取扱機能をより一層強化していくとともに、情報通信技術の活用等によるコンテナターミナルの生産性向上やサイバー攻撃によるシステム障害の再発防止等に向けたサイバーセキュリティ対策の強化を図る必要があります。

また、ものづくり産業の成長と地域のカーボンニュートラルの実現の両立に貢献していくため、名古屋港港湾脱炭素化推進計画を踏まえ、関係者と連携してカーボンニュートラルレポートの形成を推進する必要がある、将来の投資に向けた中長期的視点での支援が求められます。

併せて、持続的な港湾整備に伴い発生する浚渫土砂の処分場整備の着実な推進、名古屋港への道路ネットワークを拡充する必要があります。

更には、名古屋港の物流機能が麻痺することは、我が国の経済に深刻な影響を与えかねないことから、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、防災機能の更なる強化を図るとともに、重要インフラ等の老朽化対策を強力に推進する必要があります。

つきましては、港湾整備及び海岸整備に必要な予算の確保を図り、名古屋港の港湾機能の強化に向けた施策の推進に対し、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

1. 東南アジア向けのコンテナ船の大型化への対応など、コンテナターミナルの改良による効率的な輸送の実現に向け、飛島ふ頭地区のコンテナ取扱機能強化について、一刻も早い対応が必要
2. さらなるコンテナターミナルの生産性向上に向けた港湾のスマート化への支援が必要
3. コンテナターミナルにおけるサイバーセキュリティ対策の強化に向け支援が必要
4. カーボンニュートラルポートの形成に向け、荷役機械等の脱炭素化の促進について支援が必要
5. 持続的な港湾整備に伴い発生する浚渫土砂を処分するため、土砂処分場整備の着実な推進が必要
6. 名古屋港へのアクセス向上、渋滞緩和を図り、生産性向上による経済・産業の更なる発展と、災害時の避難経路や救援活動の役割が期待される西知多道路等の早期整備、一宮西港道路の路線検討の推進、名古屋三河道路の優先整備区間の路線検討の支援が必要
7. 南海トラフ巨大地震が想定されている中、安全・安心な港湾を実現するため、海岸保全施設の防災機能の一層の強化が必要
8. 重要インフラ等の機能を維持するため、老朽化対策の強力な推進が必要

2024年 7月

名古屋商工会議所会頭	嶋 尾 正
名古屋港振興協会会長	藤 森 利 雄
名古屋港利用促進協議会会長	藤 森 利 雄
名古屋海運協会会長	池 原 修
名古屋港運協会会長	藤 森 利 雄
東海倉庫協会会長	尾 関 圭 司

# 1. 飛島ふ頭地区のコンテナ取扱機能の強化



R1 岸壁（耐震）（改良）  
延長 350m、水深 15m  
2022 年 10 月 供 用



R2 岸壁（耐震）（改良）  
延長 350m 水深 12m→15m  
2023 年 5 月 工 事 着 手

# 2. 港湾のスマート化への支援



埠頭整備等資金貸付金事業  
T1 荷役機械 3 基整備  
※2025 年度完了予定



ターミナルオペレーションの高度化

# 3. コンテナターミナルにおけるサイバーセキュリティ対策の強化



# 4. カーボンニュートラルポート形成への支援



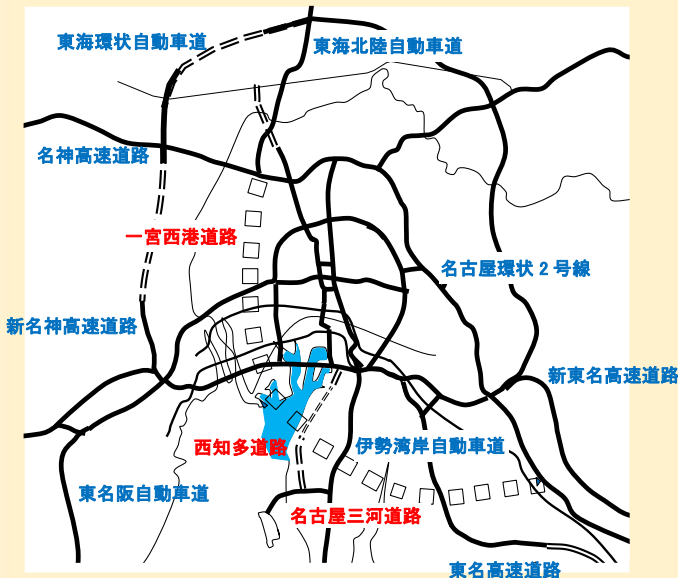
コンテナターミナルにおける脱炭素化

## 5. 名古屋港の機能確保に向けた土砂処分場整備の着実な推進



## 6. 名古屋港への道路ネットワークの拡充

## 7. 海岸保全施設の防災機能の強化



防潮壁の防災機能強化

## 8. 港湾施設等の老朽化対策



### 名古屋港の実力

～ 2023年名古屋港の日本一 ～

22年連続  
日本一

総取扱貨物量  
**1億5,784万トン**  
2002年から22年連続

45年連続  
日本一

自動車輸出台数  
**145万台**  
1979年から45年連続

26年連続  
日本一

輸出額－輸入額  
**7兆8,631億円**  
1998年から26年連続

1907



PORT OF NAGOYA